

大崩山群 祝子川本流ゴルジュ沢登 山行報告

日 時：令和2年〔2020年〕8月29日

参加者：中山・中野・土橋・船越・岡村繁雄

当日は良い天気恵まれたものの、数日前台風8号が九州をかすめて通過したため数日間雨が降りゴルジュの遡行には、状況としては良くなかったが各メンバーの希望で出かけてみた。

28日仕事終了後北九州を出発。道の駅宇目に深夜0時到着、各自持参のテントで1時頃より仮眠、4時30分に起床。私は、あまり眠れず4時に起きてとりあえず朝食を取った後、5時出発。

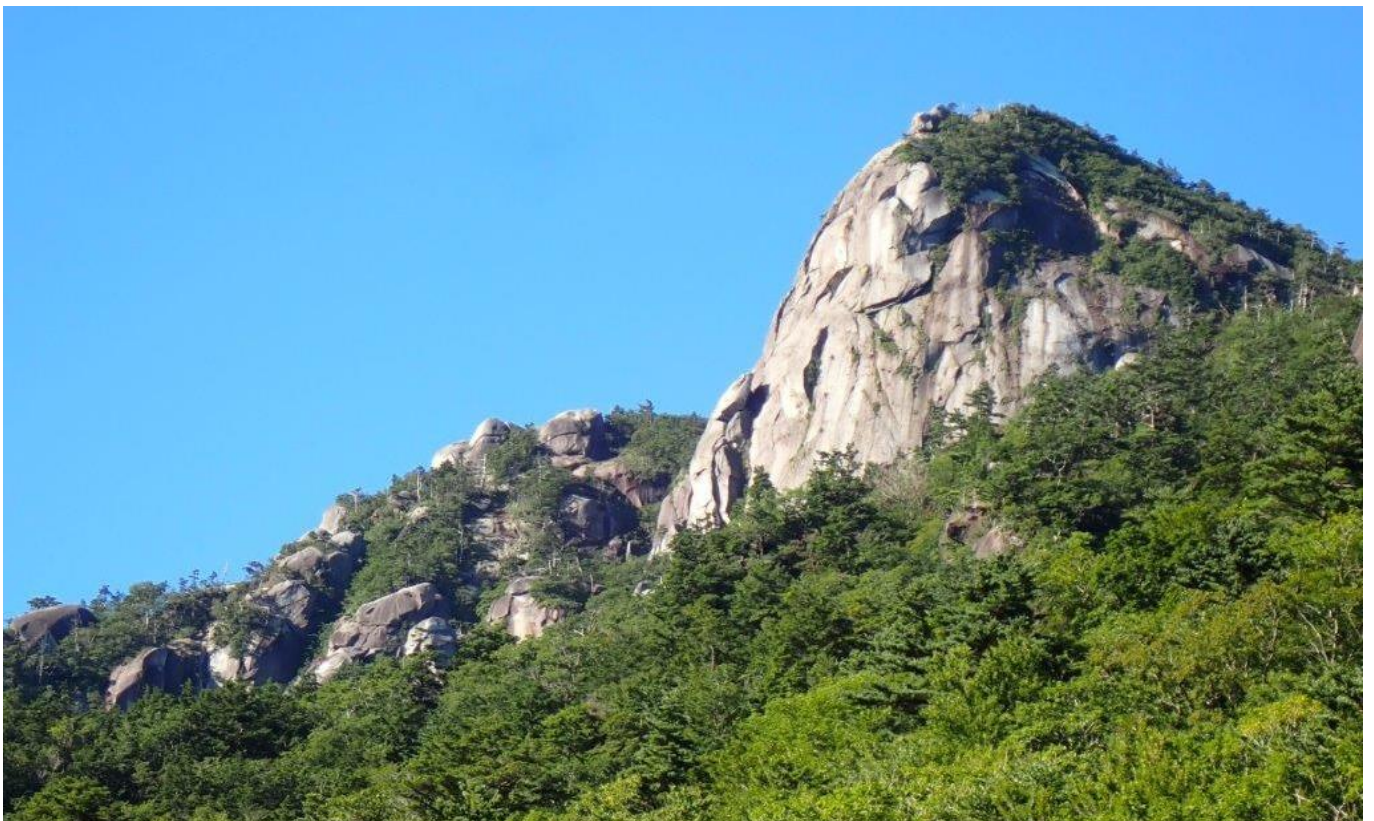
睡眠不足は、この年になると体に堪える。



大崩山登山口に車を止めて6:10 出発



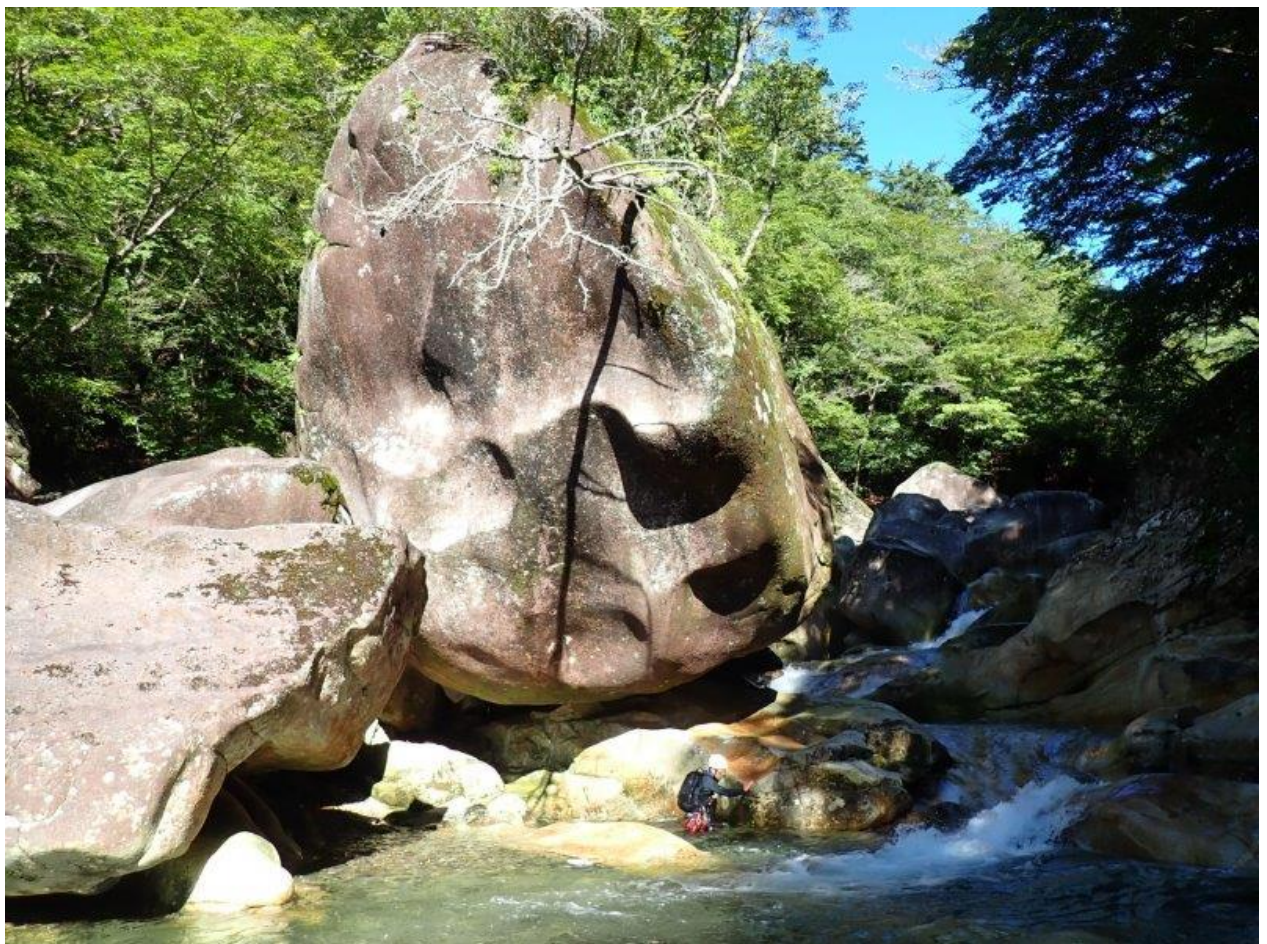
登山道のこの掲示がある谷の沢を下降

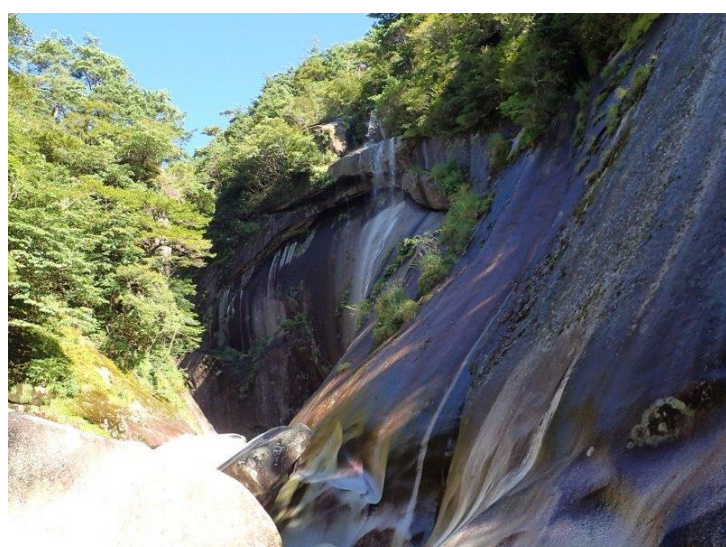


喜平越谷より祝子川に下降した地点より大崩山 小積ダキを望む（望遠）



沢に降りてすぐの大岩にスズメバチの巣を発見。
巣を刺激しないように左岸を大きく高巻く

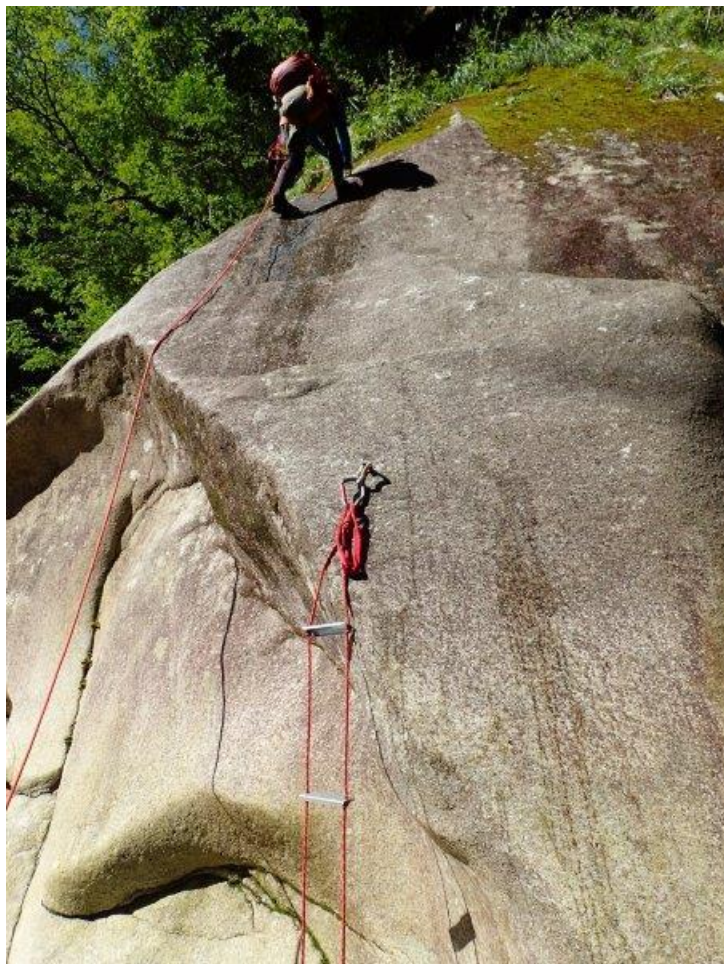




この奥がゴルジュ入口の2条の滝がある



祝子川本流ゴルジュ入口の2条の滝、予想通り水量が多い
これから奥に進むと撤退がかなり難しい



2 条の滝 左側の岸壁を高巻く



高巻いた後、懸垂下降でゴルジュに下降

通常水量が少なければ 2 条の滝の脇を、アブミを使い登れるらしいが水量が多いため滝の左側を高巻いた後懸垂で下降、一旦このゴルジュに降りると撤退は、用意ではないためジャンピングとリングボルト数本を持参して望んだ。



懸垂下降後、すぐの 3 個の大岩
水量が少なければ下を通過する
のだろうが通れず、岩の上を正面突破



3つ目の岩をショルダーでクリアー



3個の大岩より、右の岩が懸垂下降点



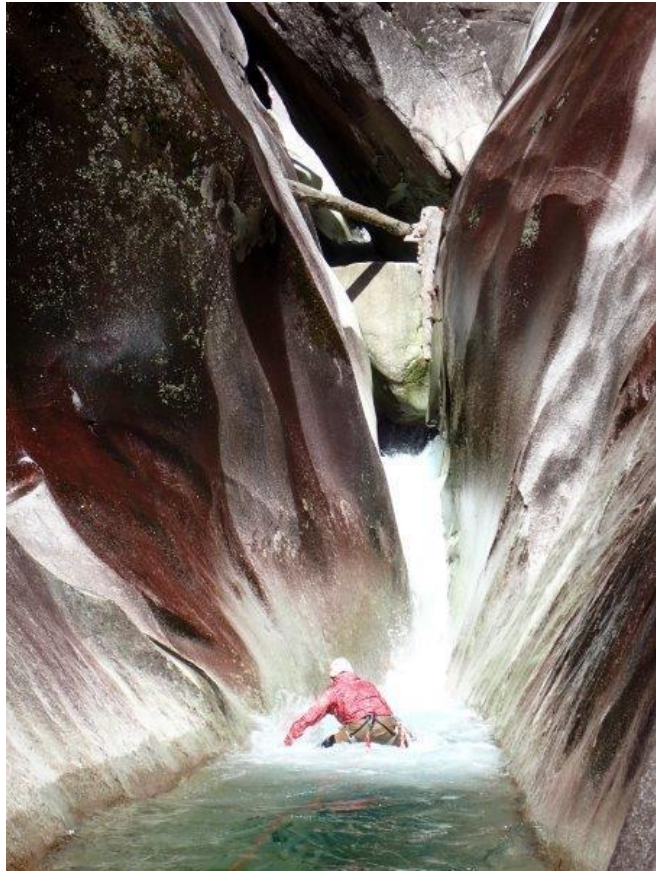
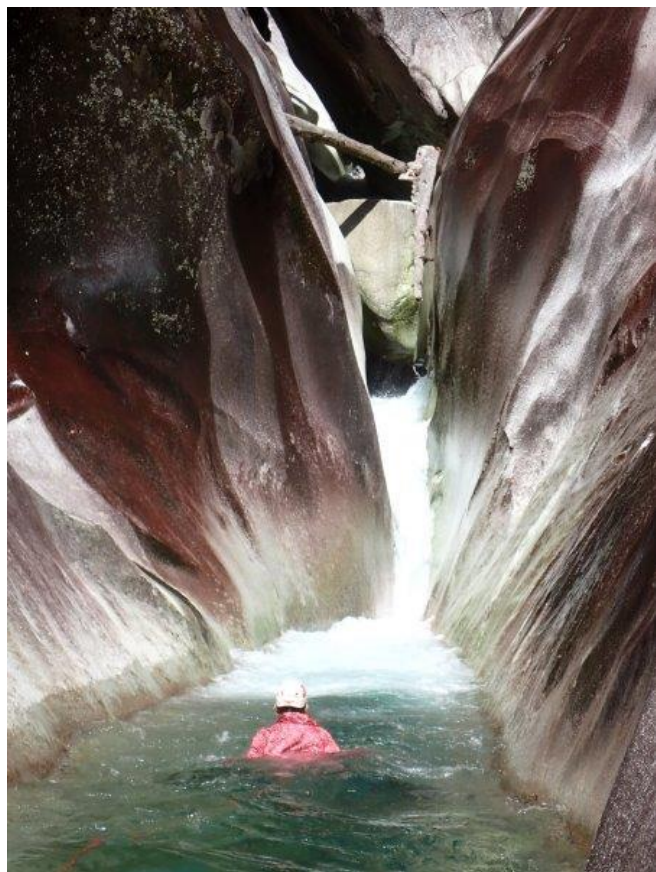
この奥が30mゴルジュ



泳いで入ったが押し戻されたため側壁をトラバース

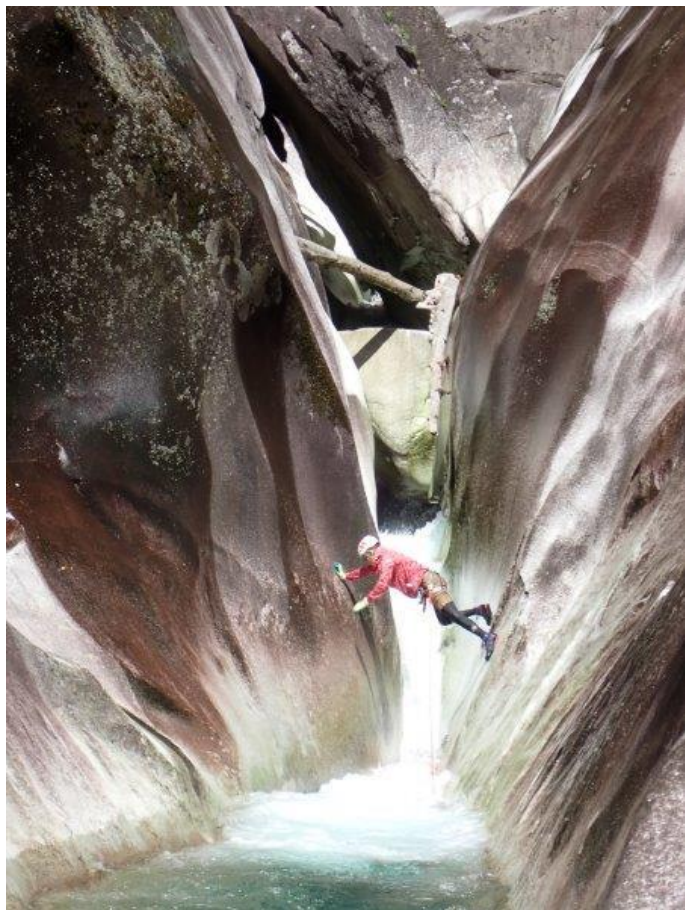


トラバース後スリップ 失敗



30mゴルジュ水量が多く、体力にプラス身長のある土橋さんが素晴らしいパフォーマンスの未突破。
チェックストーンに、たまたま引っかかっていた流木でビレーポイントを確保。

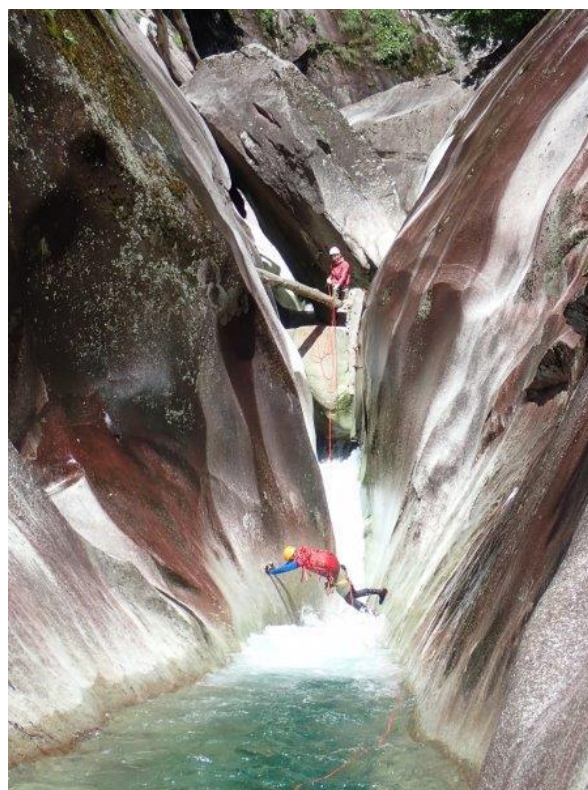
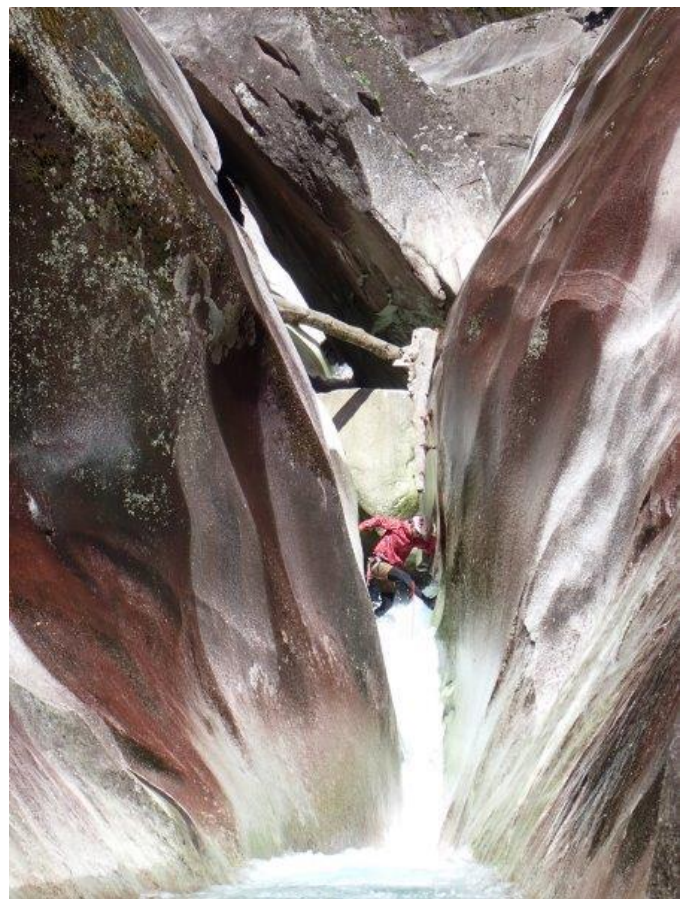




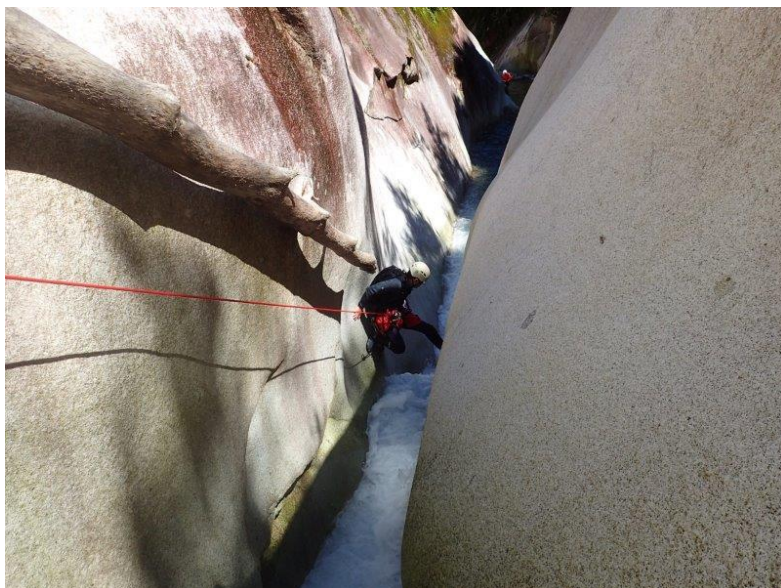
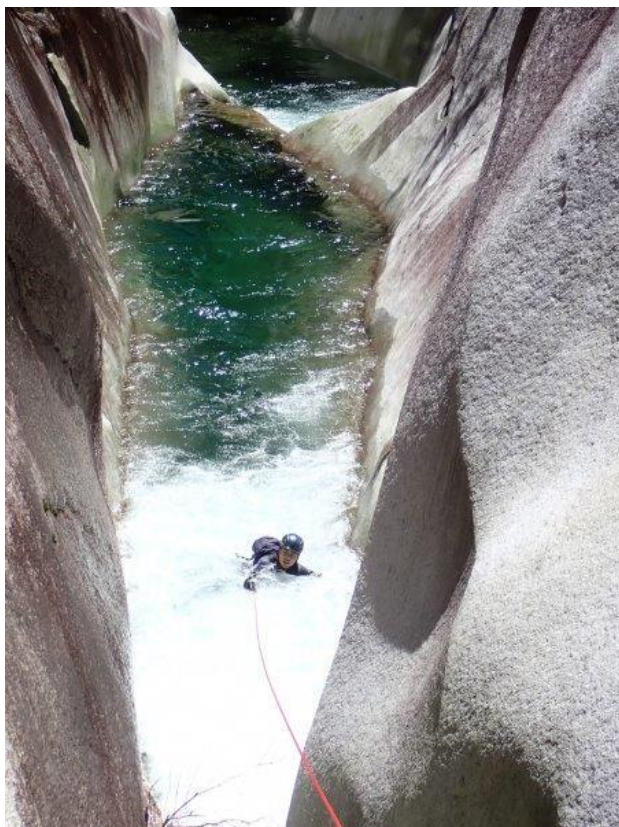
一休み



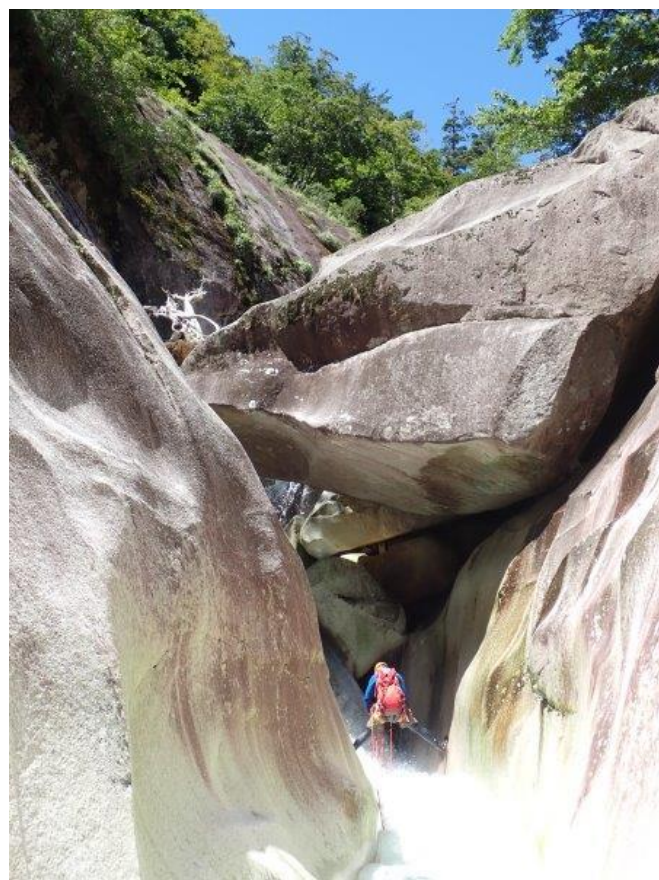
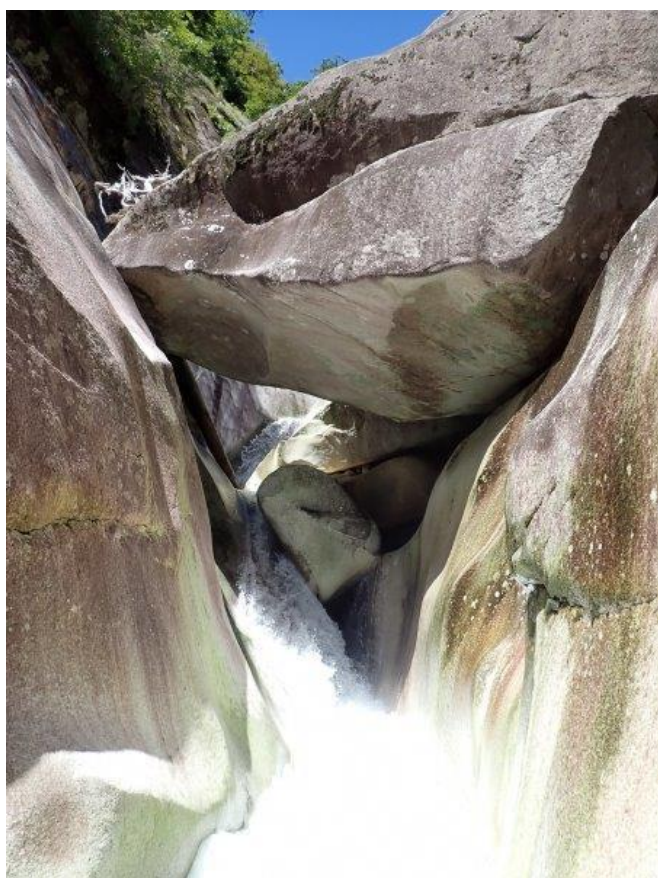
流木に到達



セカンドでトライ



流木のビレーポイントより

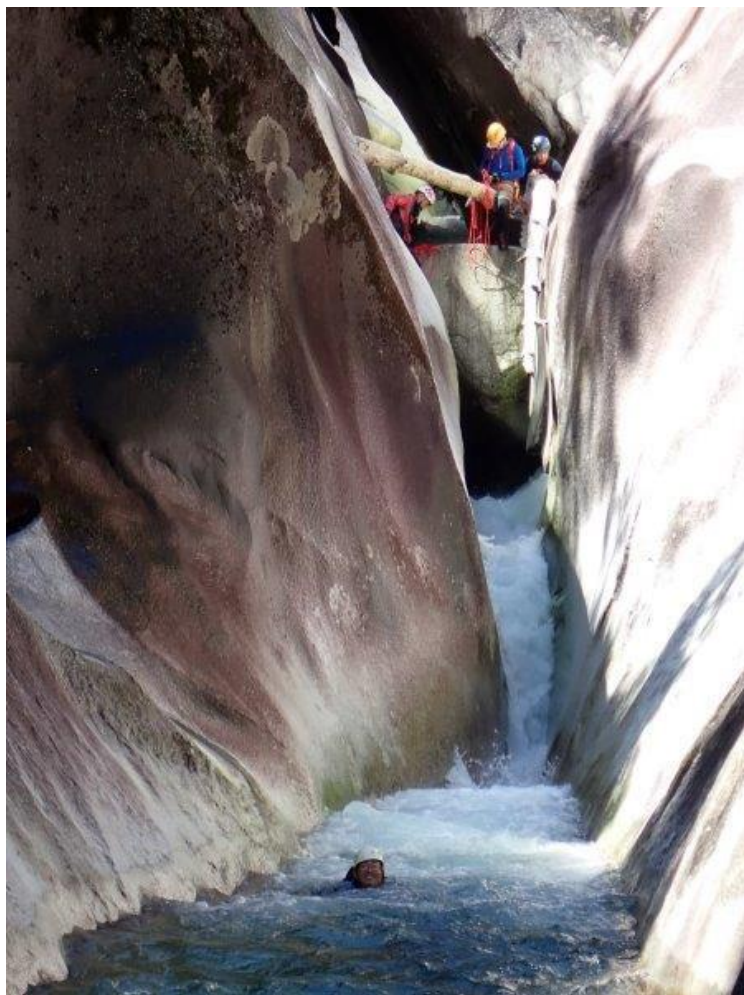


大岩のチェックストーン

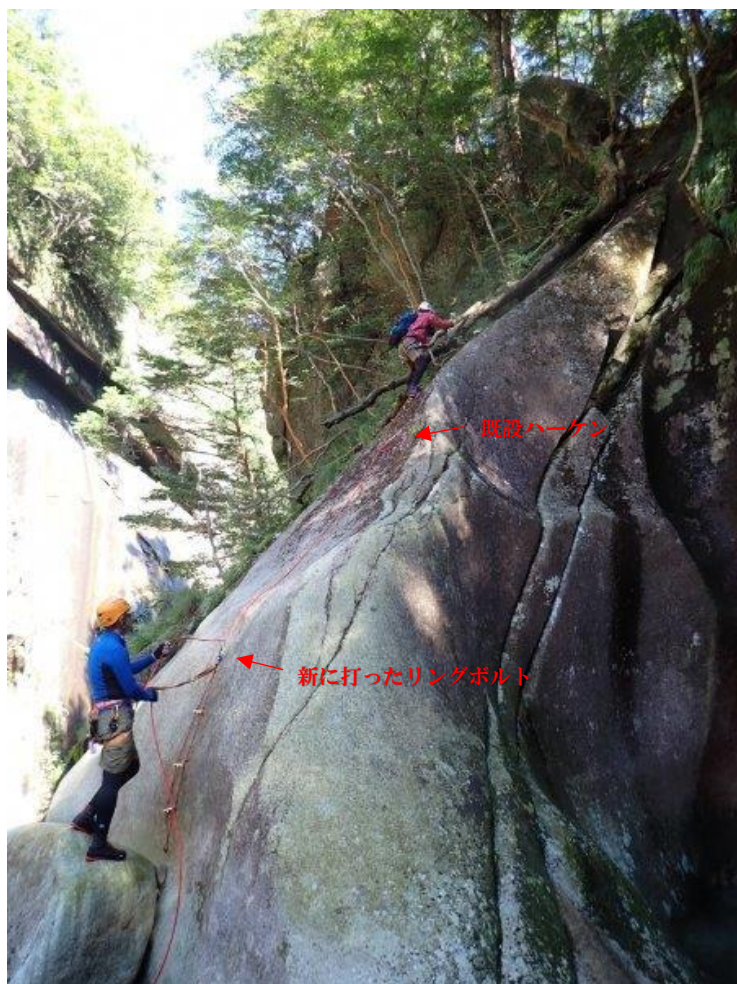
流木の上から次の岩の脇を通過した後、ゴルジュの先に大岩のチェックストーン。岩の下は水量が多く近寄ることが出来ず、ハンマー投げを試みたが引っかからず。ゴルジュからの脱出に時間がかかることを考慮して早めにここで撤退。12：20



撤退



30mゴルジュを下降 けっこう大変



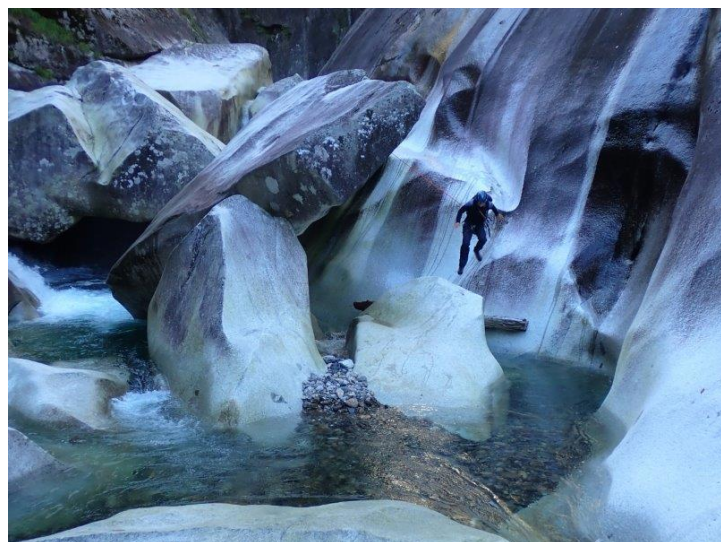
懸垂下降した左側の岸壁の上に倒木があり
ハーケンを途中で1箇所確認していたので、
下部に1箇所リングボルトを新に打つ。
ハーケンの頭に乗って倒木をホールドにし
て登ったが、この倒木がなければ斜面がコケ
で滑るため、倒木がなくなるとこの先が難しい。



2条の滝 左側の高巻いた岸壁を下降



懸垂下降の途中で撮影



この水量ならではの、自然の沢と岩の素晴らしい造形美に接することができるのは、この場所に立ち入ることのできる限られた者の特権であると思う。

久しぶりに体を目一杯使い自然と格闘した充実一日で、大崩山登山口 6 時過ぎに出発し、11 時間弱の行程であった。

Reported by S.Okamura Photo presented by Dobashi & S.Okamura